

ちょうふ環境市民会議 第 6 回 定期 総会

2014・5・18(日)

14:00 ~ 15:30

於:たづくり10階 花水木



ちょうふ環境市民会議

ちょうふ環境市民会議第6回定期総会 議事次第

1. 開会挨拶

2. 議長選出・書記任命

3. 議事進行

第1号議案 2013年度活動報告 …… P. 2

第2号議案 2013年度収支報告監査報告 P. 7

第3号議案 2014年度活動方針 …… P. 8

第4号議案 2014年度予算案 …… P. 9

4. 議長・書記 解任

5. 閉会

※資料1 …… 別添

■第1号議案 2013年度活動報告

○2013年度活動方針

調布市の自然環境をはじめとする「環境」について、活動で得られた情報や知恵を共有し、環境を考える市民・事業者・団体が連携して、活動にたずさわる人や市民へ発信していきます。5年目をむかえ、エネルギーなど、会員の活動も広がってきています。それぞれの活動を、楽しみながら自発的に継続しつつ、ちょうふ環境市民会議が市民・行政・企業との活動をコーディネートすることで、環境の視点で調布市のまちづくりに貢献し存在意義をアピールしていきます。

○規約にかかげた活動目的・方針にもとづき、以下の活動を楽しんでいます。

- ・「東日本大震災」後、都市に住む市民の暮らし方が問われています。暮らしを根本から見直し行動する「私から始めるエコライフ」の活動に引き続き取り組みます。
- ・長年ちょうふ環境市民会議及びメンバーが提言し取り組んできた「国分寺崖線や樹林地・水循環・佐須の里山の環境保全」が調布市新総合計画(24年度策定)の重点計画に位置づけられました。「市民との協働」の視点で重点的に取り組みます。観察会・学習会・その他、会員が市民会議の場をつかって、環境保全を推進する活動に取り組みます。

1. 組織運営報告

・理事会

定例で理事会を年12回開催し、年間活動計画に従い、自主事業を実施しました。受託事業業務管理については、業務ごとに担当理事を決め、事務局と連携し業務を実施しました。全ての受託業務について、業務実施後14日以内に業務実施報告書を提出。年度末に、「平成25年度調布市環境学習交流推進事業業務報告書(全100頁)及び、収支報告・監査報告、記録電子媒体を各2部提出しました。

・運営会議

規約改正により位置づけた運営会議を、交流事業業務の企画運営において4回実施しました。

・事務局

事業計画の年間スケジュール一覧を作成し、年間スケジュール調整、理事会・運営会議レジメ案の作成や資料準備、個人会員・団体会員に対する連絡など、事務一切を担当しました。議事録については、3日～1週間以内に議事録を作成し、役員MLに報告しました。また、WEBを使つての広報活動も実施しました。

受託事業においては行政との連絡調整、講師依頼・日程調整・会計等の役割を担っています。現在は市民会議事務局が無いので事務局員同士の意思疎通や、会員との情報交換にも利用できる拠点があることが望ましいと考えています。

・会員動向

理事が率先して会員拡大に努め、個人会員15名、法人会員1団体の新しい仲間が増えました。

【2013 年度末 会員数】

個人会員数：91 名団体会員数：9 団体

入間・樹林の会／野川とハケの森の会／身近な川を見守る会／カニ山の会
 野川で遊ぶまちづくりの会／深大グリーンクラブ／若葉緑地の会／若葉の
 森 3・1 会／調布ごみ市民会議

法人会員：4

東京ガス(株) 西部支店／(株)ニデア／(株)セルコ／調布未来のエネルギー協議会
賛助会員(個人)：4 名

2. 事業報告

【自主事業】

(1) 交流事業**雑木林連絡会（事務局担当：安部・江刺・大村）**

コーディネート事業として位置付け、「雑木林連絡会」の事務局を担当しました。今年度は、協働で取り組んで策定された「調布市崖線樹林地保全活動協働事業実施要綱」に基づき、10 月に各保全活動団体が、市との取り決めを交わしました。2 回(8 月・10 月)の会議を行い、保全活動に関して要望と情報交換とを行いました。また団体ごとに不足している道具リストを提出し、ほぼ希望どおり支給されました。(緑と公園課/参加雑木林保全団体 5 団体：入間・樹林の会/カニ山の会/若葉緑地の会/若葉の森 3・1 会/凸凹森の会)

イベント参加・PR

アースデイ・環境フェア・多摩川自然情報館祭りに参加し、様々な活動の PR と啓蒙活動を行いました。

(2) 活動推進事業**野川清掃PJ（担当：岡部）**

- ・7 月 21 日(日) 野川下流方面で、野川とハケの森の会の清掃活動と協働分担し、市民会議としては小足立橋から小金橋間の川岸の清掃を行いました（参加者 4 名）。
- ・11 月 30 日(土) 調布市野川クリーン作戦に参加し、中島橋から榎橋の間の川岸および遊歩道の清掃を行いました（参加者 3 名）。
- ・東京都公園協会のボランティア団体助成金
 河川清掃等のボランティア団体に対する助成金交付申請を行い、3 万円の助成金交付が認定・交付されました。野川の自然をアピールする記事を掲載した自然だよりの印刷費の一部等とし活用しました。
- ・3 月 11 日(火) 身近な川を見守る会と共に、水生植物園から野川大橋下へ流れ込む湧水路調査に参加しました（参加者 5 名）。

多摩川清掃 P J (担当：里)

- ・4月14日(日) 春の多摩川クリーン作戦(参加者7名)。
- ・11月10日(日) 秋の多摩川クリーン作戦(参加者5名)。

例年通り、ワンド付近の清掃を担当しました。「ちょうふ環境市民会議」名で、参加登録しています。

布田崖線下の水路探索 P J (担当：鍛冶)

3月24日(月)、地元生まれの会員を案内役に染地地区の用水路探索を行いました。昔(昭和初期)の水路絵地図を参考に水路探索をし、自然だより123号の記事として掲載しました。参加呼びかけから開催まで1週間しか無かったため、スタッフをふくめ参加者は5名にとどまりました。

(3) 広報事業

ちょうふの自然だより

カラー版で5回(No.118～No.122)各1000部発行しました。発行日に、ちょうふ環境市民会議HPのトップページにデータをアップしました。またバックナンバー書庫にも収録し、ダウンロード可能にしています。

環境政策課を通して、調布市公共施設(市役所環境部・図書館・地域福祉センター・文化会館たづくり・市民活動支援センターなど)、協力店舗等で無料配布しました。保全活動団体メンバーには手渡しで配布しました。

ホームページ

基本管理1名+記事管理・更新担当1名が担当しています。2013年度から、検索しやすいHPをめざしカテゴリ・固定ページのテーマの整理を始めました。広報プロジェクトメンバーを募集しましたが、応募がありませんでした。担当1名では限界があります。

フェイスブック「ちょうふ環境市民会議」

更新マネージャーを2名登録。適宜、写真アルバムを含め発信しました。イベント案内など行事予定の発信後には、毎回200名の閲覧が記録されています。市内在住者に向けた有料情報発信ツールの活用が課題です。ツイッターは、休止中です。

市民活動支援センターWEB登録情報の更新

担当者が決まらず、更新や活用ができていません。その他若い世代へのPRに役立つWEBによる情報発信についての検討が課題です。

(4) 提言活動等

「里山・国分寺崖線保全と協働に関する要望書」を調布市長に提出しました。2012年に景観条例が策定されたのに続き、2013年度に景観基本計画の策定につ

いて景観審議会で審議されてきました。国分寺崖線の保全を市の重点計画と掲げていることから、都市計画部等との調整などが必要なため 12 月に要望書を提出しました。その他キャンプ場利用ルールの見直し等も要望しました。

3 月に届いた回答に関連して、3 月 28 日(金)、環境部環境政策課・緑と公園課・都市計画部と、要望事項の具体化に向け、意見交換を行いました。

【受託事業】

2013 年 4 月初旬、調布市環境学習支援事業に関する業務計画案並びに予算書案を提出し、4 月 25 日(木)受託契約を交わしました。①雑木林塾運営業務、②環境保全団体・市民の交流業務、③エコライフ推進業務にそれぞれ担当役員を配置し進行管理を行いました。交流業務については、運営会議を 4 回開催し、会員・団体メンバーの協力で実施しました。総合業務管理を年 12 回実施しました。

(1) 雑木林塾運営事業

雑木林ボランティア講座 P J (担当：里・江刺)

雑木林保全の人材育成を目的とする雑木林ボランティア講座(今年度より名称変更)では、初級講座前期 3 回(受講生 5 名)・後期 2 回(受講生 9 名)を実施しました。下草刈りの実地研修を保全活動グループメンバーと一緒に行うようにしたことで、受講生の保全活動グループへの参加がスムーズに行われたといえます。また、中級講座(全 1 回)は、活動経験者を対象に日頃の保全活動に役立つ講座(粗朶垣による落葉溜めバイオスタック作り)を実施。4 団体から 9 名の参加がありました。

(2) 交流イベント事業

交流イベント P J (担当：安部・岡部)

2 月 16 日(日)の団体交流イベント(受託事業)において、日頃環境保全に関わる 22 団体と行政が一堂に会し、第 5 回環境学習交流会「私から始めるエコライフ 明日の環境とエネルギー」をたづくり映像シアターで開催しました。2013 年より団体会員となった「調布未来のエネルギー協議会」との連携・協力で、「第 4 の革命・エネルギーデモクラシー」の上映を企画実施しました。上映後、調布市内のエネルギー事情について情報の共有を行いました。

活動紹介展&交流カフェ P J (担当：鍛冶・江刺)

また、2 月 16 日(日)~21 日(金)まで、たづくり北ギャラリーにおいて、活動グループ紹介展と日替わりのテーマで「交流カフェ」を実施し、団体間の交流とともに、市民へのアピールの機会としました。活動紹介展示コーナーは、参加の

22 団体の展示に加えて、「調布の里山コーナー」「子どもたちの取組みコーナー」「クラフトの展示」「DVDのTV上映」を企画しました。特に、運営会議企画の子どもたちの活動展示は好評でした（235名参加）。

パネル巡回展示PJ（担当：江刺）

活動紹介パネル巡回展を多摩川自然情報館（4月1日（月）～30日（火））、たづくり11階壁面ギャラリー（5月2日（木）～11日（土））、北部公民館1Fギャラリー（9月6日（金）～19日（木））で実施しました。

（3）エコライフ推進事業

ゴーヤ苗配付業務（担当：鍛冶・江刺）

6月8日（日）環境フェアにおいてゴーヤの苗800株を無料配付し、壁面緑化を推進する活動をおこないました。当日は環境市民会議メンバー10名がスタッフとして参加しました。またゴーヤの育て方や生ゴミ堆肥の作り方を載せたチラシも作成し苗と共に配付しました。

里山学習PJ（担当：尾辻・紺野・鍛冶）

6月23日（日）里山探検マップ作りワークショップ第1回を実施しました。学校へのちらし配付など若い方への関心を促す配慮をしましたが、子ども連れの参加者は2組でした。講師の解説で佐須の里山を見て回り、発見したことを写真などで記録しマップの材料としました（参加者9名）。

7月7日（日）第2回ワークショップでは、模造紙に佐須マップをまとめ、多摩川自然情報館等で展示しました。年度内にマップをデータ化し調布市に提出しました（参加者2名）。

■ 第 2 号議案 2013 年度収支報告

[自 2013 年 4 月 1 日 至 2014 年 3 月 31 日]

		単位：円		
	科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
	2012年度活動準備金	167,608	167,608	
	[会費]	60,000	60,000	
収	会費・正会員（個人）	35,000	32,000	500×64名
	会費・正会員（団体）	9,000	9,000	1000×9団体
	会費・正会員（法人）	12,000	12,000	3000×4団体
	賛助会員（個人・団体・法人）	4,000	7,000	規約改正前個人1（3000） + 改正後個人4（1000）
入	[事業]	1,001,200	998,450	
	受託事業	991,200	991,200	
の	自主事業	10,000	7,250	アースデイ・環境フェア・ 情報館祭り・注連縄作り
	[寄付金・助成金等]	96,000	92,405	
部	寄付金	66,000	62,405	
	助成金	30,000	30,000	公園協会
	[雑収入]	100	40	
	雑収入	100	40	
	収入の部合計	1,324,908	1,318,503	
支	[事業費]	1,153,200	1,064,432	
	受託事業	991,200	991,200	
出	自主事業	162,000	73,232	
	広報事業費	72,000	44,445	自然だより制作3回分
	交流事業費	60,000	8,427	アースデイ・環境フェア・情報館 祭り・注連縄作り
	保全活動費	30,000	20,360	水路探索PJ/野川保全
	[管理費]	171,708	124,684	
の	事務局運営費	72,000	80,000	会計36.0/H P更新36.0/規 約改正素案作成5.0/会計ワ ト作成3.0
	旅費交通費	3,000	8,030	
部	通信費	9,000	22,462	インターネット・メイト料など7.5/ 携帯電話料72.0/総会議案 書と会員お知らせ郵送4.1/ 自然だより郵送1.2/その他 メール便など
	什器備品費	15,000	0	
	事務用品・消耗品	5,000	7,624	インク5.2/コピー用紙1.9/ その他
	会議費	10,000	6,568	会議資料コピー5.0/会場費 1.2その他
	雑 費	3,000	0	
	次年度活動準備金	54,708	129,387	
	支出の部合計	1,324,908	1,318,503	

■ 2013 年度監査報告

2014年5月2日、会計担当理事の立ち会いのもと、監査を行いました。

1. 2013年度収支報告に相違はありません。
1. 領収書等証票類に間違いはありません。
1. 規約に則り適切に事業運営されています。

2014年5月2日

監事 赤川忠明



■第3号議案 2014年度 活動方針 (案)

調布市の自然環境をはじめとする「環境」について、活動で得られた情報や知恵を共有し、環境を考える市民・事業者・団体が連携して、活動にたずさわる人や市民へ発信していきます。

6年目をむかえ、エネルギーなど、会員の活動も広がってきています。それぞれの活動を、自発的に継続しつつ、ちょうふ環境市民会議が市民・行政・企業との活動をコーディネートし、環境の視点で調布市のまちづくりに貢献し存在意義をアピールしていきます。

○規約にかかげた活動目的・方針にもとづき、以下の活動を楽しく行います。

- ・「東日本大震災」後、都市に住む市民の暮らし方が問われています。暮らしを根本から見直し行動する「私から始めるエコライフ」の活動に引き続き取り組みます。
- ・長年ちょうふ環境市民会議及びメンバーが提言し取り組んできた「国分寺崖線や樹林地・水循環・佐須の里山の環境保全」が調布市新総合計画(平成24年度策定)の重点計画に位置づけられました。また平成26年度から見直しが行われる市計画(崖線東地域の保全計画策定のための調査等)についても協働の視点で取り組みます。
- ・その他、会員が環境市民会議の場を使って環境保全を推進する活動に取り組みます。

2014年度 事業計画 案

(1) 交流事業

- ・環境保全団体交流イベント(受託)
- ・各種イベントへの参加
- ・雑木林連絡会

(2) 活動推進事業

- ・河川清掃(多摩川ワンド清掃、野川清掃・見まわり)
- ・雑木林ボランティア講座前期・後期(受託)
- ・エコライフ推進(緑のカーテン苗配付)(受託)
- ・人材育成事業(自然ガイドが活動できるしくみ等の検討)(受託)
- ・クラフト作り・観察会等PJ活動

(3) 広報事業

- ・自然だよりの発行
- ・WEBでの広報

(4) 提言活動など

学習会、ヒアリング、提言まとめなど

■第4号議案 2014年度 予算(案)

[自 2014年4月1日 至 2015年3月31日]

		単位：円	
	科 目	予 算 額	備 考
	2014年度活動準備金	129,387	
	[会費]	61,000	
収	会費・正会員（個人）	35,000	500円(70人)
	会費・正会員（団体）	9,000	1000円(9団体)
	会費・正会員（法人）	12,000	3000円(4法人)
入	賛助会員（個人・団体・法人）	5,000	個人1000円・団体3000円・法人5000
	[事業]	993,880	
	受託事業	793,800	受託事業費
		190,080	受託管理費
の	自主事業	10,000	アースデイ・環境フェア・情報館祭・クラフト講習会などの売上
	[寄付金・助成金等]	150,000	
	寄付金	120,000	
部	助成金	30,000	公園協会
	[雑収入]	2,500	
	雑収入	2,500	自然だより郵送料入金
	収入の部合計	1,336,767	
	[事業費]	1,003,800	
支	受託事業	793,800	
	自主事業	210,000	
	交流事業費	30,000	雑木林連絡会15.0/イベント参加費10.0/その他5
	活動推進事業費	20,000	河川清掃(腕章など)10.0/その他PJ10.0
出	広報事業費	130,000	自然だより発行5回 77.0/HP維持費45.0/ドメイン料8.0
	調査研究費	20,000	提言活動・学習会/書籍等
	記録誌積立	10,000	自然だよりダイジェスト冊子
	[管理費]	281,000	
	旅費交通費	10,000	
の	会議費	10,000	理事会・運営会議・総会議案書/会場費・コピー代等
	通信費	40,000	電話代30.0/総会議案書郵送2.5/自然だより郵送3.0/その他
	事務用品・消耗品	7,000	
部	什器備品積立費	15,000	パソコン買替え準備金等
	雑 費	1,000	
	事務局人件費	198,000	事務局長10×12/事務局員5×12/自主事業会計1.5×12
	次年度活動準備金	51,967	
	支出の部合計	1,336,767	消費税含む